



# 第2回 五ヶ丘の新しい学校を語るワークショップ

**日時** 令和8年5月10日（日）午前10時～正午

**場所** 益富交流館多目的ホール

五ヶ丘地区教育環境検討協議会

# 説明の内容

---

- 1 主催者あいさつ
- 2 ワークショップの目的と今後のスケジュール
- 3 豊田市の教育のめざす姿
- 4 五ヶ丘の児童数の状況
- 5 小規模化（少人数）の課題
- 6 グループワーク

# 説明の内容

---

- 1 主催者あいさつ
- 2 ワークショップの目的と今後のスケジュール
- 3 豊田市の教育のめざす姿
- 4 五ヶ丘の児童数の状況
- 5 小規模化（少人数）の課題
- 6 グループワーク

# 主催者あいさつ

---

五ヶ丘地区教育環境検討協議会 江口会長

# 説明の内容

---

- 1 主催者あいさつ
- 2 ワークショップの目的と今後のスケジュール
- 3 豊田市の教育のめざす姿
- 4 五ヶ丘の児童数の状況
- 5 小規模化（少人数）の課題
- 6 グループワーク

# ワークショップの目的

---

- 住民主体の話し合いにより「不安や疑問の解消」と「より良い学校のイメージの共有」を図り、学校再編に対する納得感を高める。
- 児童数の減少を踏まえて、「学校と子ども」を中心に教育環境について議論し、市が「学校再編の方向性」の検討に活用する。  
(学校再編計画案に活用していく)

# ワークショップの全体スケジュール

本日

テーマ・開催日時	内容
①両小学校の長所・特徴・違い 3月7日（土） 16:00～18:00	・両小学校の引き継ぐべき伝統や良い取組を再発見しましょう。
②小規模化（少人数）の影響 ～人数が多いとできること～ 5月10日（日） 10:00～12:00	・将来の児童数の予測も参考にしながら、学校の様子がどうなっていくのか考えてみましょう。
③学校再編への不安、心配 6月14日（日） 10:00～12:00	・不安や心配事を話し合い、どう学校再編すべきかまとめましょう。
④子どもたちが「行きたい」「学びたい」学校①～子ども目線でどんな活動・学び・遊びがしたい？～ 7月19日（日） 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学校でいきいき活動するイメージを膨らませましょう。</li> <li>・新しい学校で子どもたちと地域の大人が関わり合っていくためのタネ（きっかけ）を植えましょう。</li> </ul>
⑤子どもたちが「行きたい」「学びたい」学校②～大人目線でどんな風に活動・学び・遊びを支えたい？～ 8月16日（日） 10:00～12:00	
⑥学校と地域のつながり 9月13日（日） 10:00～12:00	

# 令和8年度の予定

5月～9月	10月～12月	1月～3月	3月末
ワークショップの実施 (第2～6回)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ワークショップのまとめ</li><li>・市による学校再編計画(案)の提示</li></ul>	学校再編計画(案)への意見募集	市による方針決定



この期間に、意見交換の進捗や内容を踏まえて、**市が学校再編計画(案)を作成**します

作成した学校再編計画(案)について、**説明会等により周知**を図ります

いただいた意見等を踏まえ、**学校再編計画を決定**します

# 説明の内容

---

- 1 主催者あいさつ
- 2 ワークショップの目的と今後のスケジュール
- 3 豊田市の教育のめざす姿**
- 4 五ヶ丘の児童数の状況
- 5 小規模化（少人数）の課題
- 6 グループワーク

# 子どもたちが生きるこれからの社会

## 社会環境

少子高齢化 グローバル化  
AI 技術の進展 DXの進展



予測困難な時代の到来

## 学校環境

いじめ・不登校 児童虐待  
ヤングケアラー 障がい



子どもの抱える困難の多様化

▶ 子どもたちはこれから

**すぐに答えの出ない課題に直面していく**

# 育みたい子どもたちの姿

## 基本理念

- 10年程度の長期的な目標
- 「学びの大綱」と整合

つながりの中で、誰もが学び合いながら、自分らしく豊かな人生を切り拓く

## めざす学びの姿

自分を大切にし、  
他者を尊重する

誰もが安心して  
生涯にわたり  
楽しく学び続ける

豊田市の多様な  
魅力を分かち合い、  
つながりの中で学び、  
地域とともに育つ

自ら考え行動し、  
共に新しい  
未来を切り拓く

## 基本方針

「めざす学びの姿」の実現に向けて、  
次の5つの基本方針を設定

生き抜く力  
の育成

誰一人  
取り残さない  
教育の推進

教育DX  
の推進

安全・安心な  
環境づくり

地域と  
ともにある  
学校の実現

## 取組の方向性

基本方針を具体的に推進するため、国や社会の動向、本市の現状と課題から見える  
今後5年間で重点的に取り組む方向性を設定

自他を尊重する心を育む教育の推進

学ぶ楽しさを知り自らの可能性を広げる学校教育の推進

誰もが自分らしく学べる教育環境の確保

安全・安心で新しい時代の学びを実現する環境整備

こどもに向き合い寄り添える学校環境づくり

生涯にわたり学び続ける機会の充実

郷土愛を育み地域ぐるみで支える学びの推進

新たな社会の創り手となる資質・能力を育む機会の創出



# 地域と子どもたちのつながりが大切

## 学びの大綱の基本理念

**つながりの中で、誰もが学び合いながら、自分らしく豊かな人生を切り拓く**

- 子どもたちが、将来に夢と希望を持ち、生き生きと学び続けるためには、  
**多様な人や地域とのつながりの中で、様々な体験や学びを通じて、  
学ぶ楽しさを知ることが大切です。**
- 子どもたちのかけがえのない命と心を守るため、市民一人ひとりが、  
自他の命と人権を尊重し、**家庭・学校・地域等において、  
多様な個性や立場の違いを認め合いながら、誰もが安心して学び、  
育つことができる**環境の実現を目指します。
- そして、**誰もが生涯にわたり学び合うことで、幸せを感じ、  
自分らしく豊かな人生を切り拓くことができるよう、  
自ら学び続ける市民の活動を支援します。**

# 説明の内容

---

- 1 主催者あいさつ
- 2 ワークショップの目的と今後のスケジュール
- 3 豊田市の教育のめざす姿
- 4 五ヶ丘の児童数の状況**
- 5 小規模化（少人数）の課題
- 6 グループワーク

# 児童数の状況

五ヶ丘	年度	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		計		特支		合計
	H16	1	26	1	37	1	28	2	42	2	41	2	66	10	240			10
R7	1	21	1	22	1	32	1	22	1	32	1	22	6	151	2	5	8	156
R8	1	21	1	21	1	22	1	32	1	22	1	32	6	150	2	5	8	155
R9	1	19	1	21	1	21	1	22	1	32	1	22	6	137	2	5	8	142
R10	1	14	1	19	1	21	1	21	1	22	1	32	6	129	2	5	8	134
R11	1	23	1	14	1	19	1	21	1	21	1	22	6	120	2	5	8	125
R12	1	12	1	23	1	14	1	19	1	21	1	21	6	110	2	5	8	115
R13	1	11	1	12	1	23	1	14	1	19	1	21	6	100	2	5	8	105

約20年で  
35%減

今後6年で  
33%減

五ヶ丘東	年度	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		計		特支		合計
	H16	1	18	1	29	1	20	1	38	2	41	2	56	8	202			8
R7	1	14	1	22	1	17	1	19	1	19	1	18	6	109	2	3	8	112
R8	1	26	1	14	1	22	1	17	1	19	1	19	6	117	2	3	8	120
R9	1	24	1	26	1	14	1	22	1	17	1	19	6	122	2	3	8	125
R10	1	28	1	24	1	26	1	14	1	22	1	17	6	131	2	3	8	134
R11	1	9	1	28	1	24	1	26	1	14	1	22	6	123	2	3	8	126
R12	1	13	1	9	1	28	1	24	1	26	1	14	6	114	2	3	8	117
R13	1	13	1	13	1	9	1	28	1	24	1	26	6	113	2	3	8	116

約20年で  
45%減

数年後には  
1桁の学級が

※左列がクラス数、右列が児童数（H16のみ各学年の児童数に特別支援学級児童数を含む）

※校区内の出生数から算出（転入・転出は含まない）

※特別支援学級は、将来予測が困難なため、当該年度の児童数・クラスが引き続き維持するものとして推計

# 説明の内容

---

- 1 主催者あいさつ
- 2 ワークショップの目的と今後のスケジュール
- 3 豊田市の教育のめざす姿
- 4 五ヶ丘の児童数の状況
- 5 小規模化（少人数）の課題**
- 6 グループワーク

# 小規模化（少人数）の課題 ※参考

## 豊田市アンケートから見る課題

- いろいろな意見や考えに触れる機会が少ない
- クラス替えがないので、たくさんの友だちをつくることできない
- 行事、部活動、委員会、遊びなどでいろいろな種類の活動ができない

※中学生、小中保護者、園保護者の回答で多かったもの

## 国が示す課題

- クラス替えが全部又は一部の学年でできない
- クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない
- 運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がる
- 班活動や、球技、合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる
- 児童から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる

※公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引より（平成27年1月策定）

一方で、

- きめ細かな指導が行いやすい
- 意見や感想を公表できる機会が多くなる
- 一人一人がリーダーを務める機会が多くなる などの強みや良さもある

※公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引より（平成27年1月策定）

# グループワーク

---

小規模化（少人数）の影響

～人数が多いとできること～

# ありがとうございました

---

豊田市ホームページに  
豊田市の学校再編の取組や  
五ヶ丘地区学校再編検討協議会について  
掲載しています。

<豊田市ホームページ>

くらしの情報 ⇒ 学校・教育 ⇒ 少子化等  
に対応したより良い教育環境の実現に向け  
た取組

